

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	15H05776	研究期間	平成27年度～平成31年度
研究課題名	細胞内膜系動態が支える植物の環境応答能力	研究代表者 (所属・職) (平成30年3月現在)	西村 いくこ (甲南大学・理工学部・教授)

【平成30年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

本研究は、細胞内膜系、特に細胞内最大の表面積をもつ小胞体の動態から、植物の環境応答能力と虫害応答能力を解明することを目的としている。

研究代表者らはこれまでに、湾曲現象を制御する因子としてオーキシン輸送体やミオシン結合タンパク質を同定し、また虫害応答における ER ボディなど細胞内膜系の寄与について具体的な機構を提示するなどの研究成果を上げ、数多くの論文が発表されている。また、一般向けの講演など科学の啓発活動にも尽力している。

研究代表者の異動があったが、最適な研究環境を早急に整備した上で、更に研究を発展させることを期待する。